

ズバリ聞きます!

9月議会・4人が一般質問



高巢 泰廣議員

産業廃棄物処分場建設問題、 県と南関町基本協定調印

問 環境影響調査が4月で完了し、8月30日より「環境影響評価準備書」が公告縦覧中であり合わせて意見書の受付が実施されているが、熊本県は南関町と8月9日に処分場建設に係る基本協定書に調印したところであるが、町長は従来より和水町に於いては、地元対策協議会と一体となり対処していく事を再三述べておられる、今日においての町長の考えを伺う。

答 (町長) 県は23年4月迄予定地周辺の環境影響測定を実施し結果を公表中であるが、関係地区においては今なお安全性等に対し多くの不安の声が聞かれる。このような状況下、8月9日県、事業団、南関町は建設に関する基本協定書に調印されたが締結の時期は早過ぎたと思っている。縦覧中の準備書に対する多くの意見を寄せて頂きたい。又、和水

町長としての意見・見解を知事に述べる必要があるが、今後においても地元対策(協)の動向・意見を見守り対処していく。

問 関係地区区長においては大変な苦勞をされている、町長は関係区長と連携を密にされ住民の安全に一段と取り組んで頂きたい。

答 (町長) 南関町・県が基本協定を締結した今日、町長として眺めている訳にはいかない、両区の区長さん方はひとつひとつ県の説明を求めながら進めて頂きたい。町は関係者の方々に話をし一緒に進んで対策を講じていきたい。

定住促進を図るうえからの 企業誘致は重要では!!

問 定住促進策を推進するうえで働く場所の確保は重要である、このことから①町内進出企業との懇話会の開催状況は②企業誘致についての町長の考えを伺う。

答 (町長) 企業懇話会は19年4月に第1回を開催し、今年6月に6回目を開催した。昨年からは企業立地課の出席を要請し、県補助事業、誘致状況情報等の説明を得ている。

雇用促進の観点からハローワークの出席も要請した。企業の要望で22年度から異業種交流会の開催を実施した。

答 (町長) 城北製糸跡地について会社側と話し合いを持ち、県へ企業誘致候補地として紹介、さらに学校跡地への企業誘致を依頼、紹介している。又、城北地区先端技術促進協議会に加入し隣接市町、企業と情報交換を図り、個別相談企業には候補地の紹介を行っている。今後も企業誘致に関して、理解を深め質問の内容に答えていきたい。

問 企業は円高・電力供給不安等々、厳しい状況下にあり震災以降海外移転を急いでいる状況下にあるが①立地可能な用地等の実態②ホームページ等への掲載③専従担当者配置してはどうか。

答 (町長) 立地可能な物件はゴルフ場計画跡地、城北製糸跡地等がある。当町は道路環境も良いので、県にも繋ぎ活動していく、HPへの掲載は売買価格の明示等難しい点があるが今後しっかりと紹介していく。又、学校跡地が新たな資産を生み出す、当町で子どもを育て住む場所と合わせて働く場所が必要、定住と雇用の場を

連携している事を踏まえ促進を図っていく。専従職員は配置は充分理解している状況を検討し取り組んでいく。

問 学校統合後の跡地活用策の検討を急ぐべき町長の考えを伺う。

答 (総務課長) 跡地活用策は企画室で担当、今後の方向は和水町小中学校跡地利用等活用検討チームを設置し、活用方策、方向性等を検討している。本年度内に、意識調査等を実施、24年度に於いて地域代表で構成する「学校跡地検討委員会(仮称)」を設置し活用計画書を策定し、活用方針具体策をまとめた。

答 (町長) 活用策はスピードを上げて対策を講じたい。又、敷地内に借地・里道の存在等制約が残されている詳細に調査している。更には今後地域住民の意見を聞き対応したい。

問 企業活動等のうえで光通信網の整備は不可欠である町長の考えを伺う。

答 (町長) 企業誘致・定住促進の一環として是非必要・企業からも早期整備の要望があっている。又、若い人は通信網の整備が完備している所に集まってくると思っている。この件はしっかりと進めていく。

答 (町長) 町道西光寺・中林線は、三加和中学校生徒の通学路にも指定され、緑校区と春富校区をつなぐ重要な路線である。

起点部分で約560m、終点部分で約600mについては、すでに改良が終わっているが、中林峠付近の約500m区間が未改良となっており、この区間の改良については、東部中山間地総合整備事業と並行して行うことになっているため、今後これにあわせて実施計画や用地交渉を進めていきたい。



町道西光寺・中林線



小山 暁議員

どうする! 産廃処分場問題

問 懸案となっていた産廃施設問題は、すでに8月9日に基本協定が結ばれ8月30日から環境影響評価(アセスメント)準備書の縦覧に入っているが、和水町長として、今後の対応をどのように考えているか伺いたい。

答 (町長) 今後の対応としては、内田・長小田地区の対策協議会の動向や住民説明会の意見などを見守りながら対処していきたい。

なお、熊本県環境事業団には、地域住民の不安が解消されるようより丁寧な説明を求めていきたい。

町としても決断する時期が迫っていることを認識している。**問** 10月13日までには町長の意見書を提出することになっているが、町長としての意見

集約がまとまった段階で、議会にも事前に説明をお願いしたいと思うが…。

答 (町長) 地域住民の意見回収が9月29日までとなっているので、それ以降に議会には説明をしたい。

社会教育・公民館活動と 社会体育施設の管理・ 運営について

問 地域住民にとって身近な学習の場・地域づくりの場として、自治公民館活動は大変重要な役割を担っている。現在、中央公民館と三加和

公民館の組織の中に66の分館が設置されているが、合併後も三加和地区の区長は、分館長兼務のままで重責を負っている状況が続いているが、今後の分館活動や公民館活動を推進する上で、専任分館長に統一する考えはないか。

答 (社会教育課長) 三加和地区では、以前から分館長は区長が兼務することが慣例となっているが、区長以外の方が分館長になられることに対して、何等拒むものではない。

このことについては、各行政区・分館のそれぞれの判断に委ねたい。

問 集める公民館から集まる公民館への充実を目指すため、常に住民の多様な学習要求に応える事業の取り組みが求められているが、合併して5年が経過した現在、その成果と課題について伺いたい。

答 (社会教育課長) 合併後も引き続き工夫を凝らしながら社会教育法の目的に沿った活発な公民館活動や生涯学習に取り組んでいる。

中央公民館と三加和公民館を拠点に、会議・研修会・講演会・講習会・その他各種イベント等の開催や自らの生涯学習としての日本舞踊・琴・三味線・お茶・習字・ダンス・ピーチ・バレエ等様々な学習が行われている。今後も、親しまれる公民館を目指していきたい。

問 現在、町民体育館とスカイドーム2000にそれぞれ職員を配置し、社会体育の推進に当たっているが、事務効率面や事業執行上何も問題は

ないか。

町道西光寺・中林線の 早期改良を!

問 町道西光寺・中林線の改良計画は、平成25年度からなっているが、三加和地区学校統廃合事業とのからみや児童・生徒の通学路の観点から、もつと早く計画を進めるべきだと思いが、町長の考えを伺いたい。